大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう 立志の丘から

平成２８年度　学校通信

平成２８年１１月２４日
No.３０

図書集会～読書への誘い

16日の定例集会では、生徒会図書委員会が、読書への誘いとして、本の紹介やクイズによって、全校生徒に読書に親しむよう呼びかけました。自分が読んで面白かったり感銘したりした本として「真田十勇志」や「高瀬舟」などを紹介するとともに、青春小説や怖い話など、様々な分野の本の内容に関するクイズを出題して、全校で考えました。また、全校生徒に行ったアンケート結果から各学年男女別の本の人気ジャンルの傾向が示されていました。

読書意欲をかき立てられた集会でした。

11／22　公開研究会開催

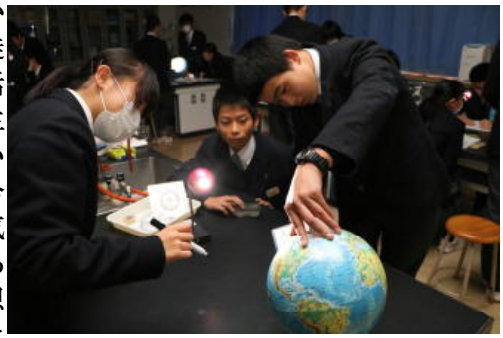
22日は、国立教育政策研究所指定「教育課程研究指定校事業(美術科)」に係る公開研究会を行いました。この研究会で、１年生は社会の地理の学習、２年生は美術の学習、３年生は理科の学習を県内外から来た先生方に見ていただきました。

１年生は、アフリカのモノカルチャー経済について、みんなが食べているカカオ・チョコレートを切り口に考えました。２年生は、地域の課題を解決できないかという視点で、大綱博物館をつくるとしたらどんなデザインがよいかについて考えました。現３年生が、リノベーションした「ＨＵＢスペース」も念頭にあったようです。３年生は、地球の運動と天体の動きから、日本の四季について考えていました。

参観した先生方は、県内の小・中学校の先生の

他に、大学や高校の先生、また，遠く北海道や富山から参加してくださった先生方もいました。生徒は、自分で考え、友達とグループで考え、そして，学級全体でも考えて、自分の考えを広げたり深めたりしていました。

先生方からは、生徒の表情・活動が生き生きとしていて、学び合いの雰囲気も自然であったと感想をいただきました。特に、文部科学省の東良雅人教育課程調査官からは、「学習のゴールは子どもの中にある」というたいへん含蓄のある言葉をいただきました。



この研究会を機会に生徒も職員も、次なるステップに向かって進みたいと思います。ご参会いただいた皆様、ご指導を賜りました関係各位に、深甚より御礼申し上げます。ありがとうございました。

短歌大会入選　2年　佐々木君

第22回石川翁顕彰大会（主催：石川翁顕彰会）において、本校２年生佐々木翔矢君の作品がジュニアの部入選５点に入りました。

“夜が明ける消えゆく月を一人見て
つらい思い出共に消えゆく”

国語の授業で短歌づくりに取り組んだときの作品で、そのときの心境が月に重ねて読み込まれているようです。入選おめでとうございます。

3年A組　保育実習　みつば保育園

先の３年Ｂ組に引き続き、21日は、３年Ａ組が、家庭科の保育実習の授業として、みつば保育園を訪問しました。

Ａ組も自作のおもちゃ等を持参し、園児の皆さんと遊んでもらいました。やはり、エビカニ体操で、アイスブレーキングをしての交流でした。今回は、前回のＢ組との交流を保育園児の皆さんが経験していたので、緊張感が早くとけ、直ぐに楽しい交流となりました。今回も貴重な経験をさせ

ていただきました。園児の皆さん、園長先生をはじめ、みつば保育園の職員の皆さん、ありがとうございました。

将来、みつば保育園に勤める生徒もいるかもしれません。

今年度2回目の「お弁当の日」実施

今年度２回目の「お弁当の日」を実施しました。みんないい笑顔で食べています。

・食事を作ることのたいへんさがわかり、家族をありがたく思った人は、優しい人です。
・手順よくできた人は、給料をもらう仕事に就いたときも、仕事の段取りのいい人です。
・食材がそろわなかったり、調理を失敗したりしたときに、献立の変更ができた人は、工夫できる人です。
・友達や家族の調理の様子を見て、一つでも技を盗めた人は、自ら学ぶ人です。
・かすかな味の違いに調味料や隠し味を見抜けた人は、自分の感性を磨ける人です。
・旬の野菜や魚の、色彩・香り・触感・味わいを楽しめた人は、心豊かな人です。
・一粒の米、一個の白菜、一本の大根の中にも「命」を感じた人は、思いやりのある人です。
・スーパーの棚に並んだ食材の値段や賞味期限や原材料や産地を確認できた人は、賢い人です。
・食材が弁当箱に納まるまでの道のりに、たくさんの働く人を思い描けた人は、想像力のある人です。
・自分の弁当を「おいしい」と感じ「うれしい」と思った人は、幸せな人生が送れる人です。

・シャケの切り身に、生きていた姿を想像して「ごめん」が言えた人は、情け深い人です。
・登下校の道すがら、稲や野菜が育っていくのをうれしく感じた人は、慈しむ心のある人です。
・「あるもので作る」「できたものを食べる」ことができた人は、たくましい人です。
・「弁当の日」で仲間が増えた人、友達を見直した人は、人と共に生きていける人です。
・調理をしながら、トレイやパックのゴミの多さに驚いた人は、社会をよくしていける人です。
・中国野菜の値段の安さを不思議に思った人は、世界をよくしていける人です。

・自分が作った料理を喜んで食べる家族を見るのが好きな人は、人に好かれる人です。
・家族が弁当作りを手伝ってくれそうになるのを断れた人は、独り立ちしていく力のある人です。
・「いただきます」「ごちそうさま」が言えた人は、感謝の気持ちを忘れない人です。
・家族がそろって食事をすることを楽しいと感じた人は、家族の愛に包まれた人です。

（「始めませんか　子どもがつくる『弁当の日』」鎌田實　対談　竹下和男　自然食通信社より）